

2018年度決算説明資料

証券コード：5332

2019. 4. 26

目次

1. 2018年度決算

2. トピックス

3. 2019年度計画

ハイライト

減収、減益。

グローバル住設事業（日本）：減収減益

- ◆リモデルは増収減益。新築は減収減益。

グローバル住設事業（海外）：減収減益

- ◆中国は一線都市での不動産市況の悪化、新商品立上げ遅れ等の影響で減収減益。
- ◆アジア・米州は増収減益。

新領域事業：増収減益

- ◆セラミック事業は増収も、生産性の悪化により減益。

2018年度決算

P/L概要

単位：億円

	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)	為替影響		修正計画 (1月31日)	修正計画差 (修正計画比)
				為替 影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	5,923	5,860	▲63 (▲1%)	▲6	▲57 (▲1%)	5,920	▲60 (▲1%)
営業利益 [営業利益率]	526 [8.9%]	401 [6.9%]	▲125 (▲24%)	+0	▲125 (▲24%)	410 [6.9%]	▲9 (▲2%)
経常利益	543	431	▲112 (▲21%)	+10	▲122 (▲23%)	435	▲4 (▲1%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	367	323	▲44 (▲12%)	+10	▲54 (▲15%)	320	+3 (+1%)
ROA	9.4%	7.1%	▲2.3pt			7.1%	▲0.0pt
ROE	11.7%	9.6%	▲2.1pt			9.3%	+0.3pt

■為替レート

	2017年度				2018年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
1ドル	113.6円	111.1円	111.0円	113.0円	108.2円	109.1円	111.4円	112.9円
1元	16.6円	16.2円	16.6円	17.1円	17.0円	17.1円	16.4円	16.3円
1ユーロ	121.1円	122.3円	130.4円	133.0円	133.1円	130.0円	129.6円	128.8円

2018年度決算

セグメント別業績

単位：億円

<売上高>	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)	前年差(前年比)の分解		修正計画 (1月31日)	修正計画差 (修正計画比)
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
住設事業 (日本)	4,256	4,251	▲5 (▲0%)		▲5 (▲0%)	4,300	▲49 (▲1%)
住設事業 (海外)	1,379	1,304	▲75 (▲5%)	▲4	▲71 (▲5%)	1,306	▲2 (▲0%)
新領域	284	302	+18 (+6%)	▲2	+20 (+7%)	311	▲9 (▲3%)
その他	2	2	▲0		▲0	3	▲1
合計	5,923	5,860	▲63 (▲1%)	▲6	▲57 (▲1%)	5,920	▲60 (▲1%)

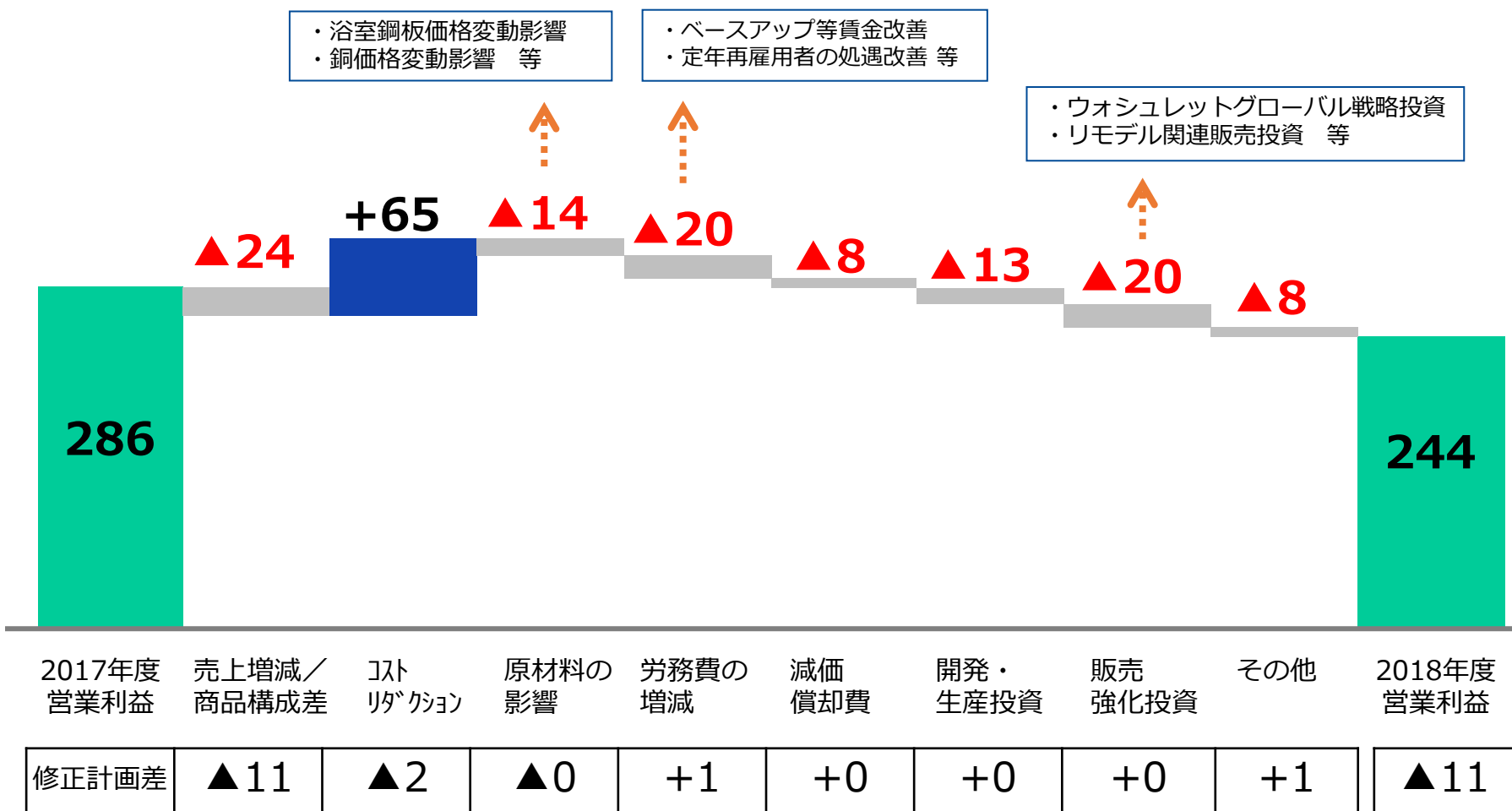
<営業利益>	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)	前年差(前年比)の分解		修正計画 (1月31日)	修正計画差 (修正計画比)
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
住設事業 (日本)	286	244	▲42 (▲15%)		▲42 (▲15%)	255	▲11 (▲4%)
住設事業 (海外)	263	183	▲80 (▲30%)	+0	▲80 (▲31%)	181	+2 (+1%)
新領域	13	9	▲4 (▲26%)	▲0	▲4 (▲25%)	10	▲1 (▲3%)
その他	▲37	▲35	+2		+2	▲36	+1
合計	526	401	▲125 (▲24%)	+0	▲125 (▲24%)	410	▲9 (▲2%)

2018年度決算

グローバル住設事業（日本）

営業利益の増減要因（前年差異▲42億円の内訳）

単位：億円



・浴室鋼板価格変動影響
・銅価格変動影響 等

・ベースアップ等賃金改善
・定年再雇用者の処遇改善 等

・ウォシュレットグローバル戦略投資
・リモデル関連販売投資 等

2018年度決算

グローバル住設事業（日本）

需要別実績

単位：億円

<リモデル>

	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)	修正計画 (1月31日)	修正計画差 (修正計画比)
売上高	2,901	2,905	+4 (+0%)	2,928	▲23 (▲1%)
営業利益	247	213	▲34 (▲14%)	220	▲7 (▲3%)
営業利益率	9%	7%	▲2pt	8%	▲1pt

<新築>

	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)	修正計画 (1月31日)	修正計画差 (修正計画比)
売上高	1,354	1,346	▲8 (▲1%)	1,371	▲25 (▲2%)
営業利益	39	31	▲8 (▲21%)	34	▲3 (▲9%)
営業利益率	3%	2%	▲1pt	3%	▲1pt

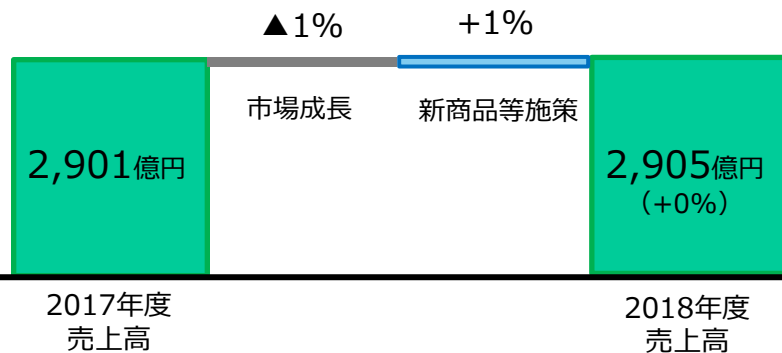
リモデルは増収。リモデル・新築ともに計画に届かず。

2018年度決算

グローバル住設事業（日本）：需要別実績の詳細

リモデル

通期：4～3月（前年比）



新築

通期：4～3月（前年比）

	通期
住宅向け売上高	+0%
住宅着工	▲2%
非住宅向け売上高	▲2%

リモデルは市場が弱含みであったが、新商品効果等により前年並み。
新築は住宅向けは着工を上回ったが、非住宅物件の納期ずれの影響で前年割れ。

2018年度決算

グローバル住設事業（日本）

商品別実績

単位：億円

	売上高			営業利益		
	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)
衛生陶器	899	900	+1 (+0%)	88	73	▲15 (▲17%)
ウォシュレット	951	959	+8 (+1%)	141	131	▲10 (▲7%)
水栓機器	937	901	▲36 (▲4%)	66	44	▲22 (▲34%)
浴室	942	974	+32 (+4%)	16	14	▲2 (▲9%)
キッチン・洗面	430	434	+4 (+1%)	▲19	▲9	+10
その他	95	81	▲14 (▲15%)	▲5	▲8	▲3
合計	4,256	4,251	▲5 (▲0%)	286	244	▲42 (▲15%)

水栓機器以外は増収。
水栓機器は新商品投入時期変更の影響及び非住宅物件の納期ずれにより減収。

2018年度決算

グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)	修正計画 (1月31日)	修正計画差 (修正計画比)
中国	719	635	▲84 (▲12%)	▲88 (▲12%)	623	+12 (+2%)
アジア	316	318	+2 (+0%)	+5 (+2%)	328	▲10 (▲3%)
米州	307	313	+6 (+2%)	+10 (+3%)	317	▲4 (▲1%)
欧州	35	37	+2 (+5%)	+0 (+2%)	38	▲1
合計	1,379	1,304	▲75 (▲5%)	▲71 (▲5%)	1,306	▲2 (▲0%)
営業利益	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)	修正計画 (1月31日)	修正計画差 (修正計画比)
中国	181	123	▲58 (▲32%)	▲59 (▲33%)	122	+1 (+2%)
アジア	67	54	▲13 (▲19%)	▲12 (▲19%)	56	▲2 (▲3%)
米州	25	16	▲9 (▲36%)	▲8 (▲34%)	15	+1 (+8%)
欧州	▲10	▲11	▲1	▲0	▲12	+1
合計	263	183	▲80 (▲30%)	▲80 (▲31%)	181	+2 (+1%)

グローバル住設事業（海外）で減収減益。

2018年度決算

現地グループ会社の業績（中国）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

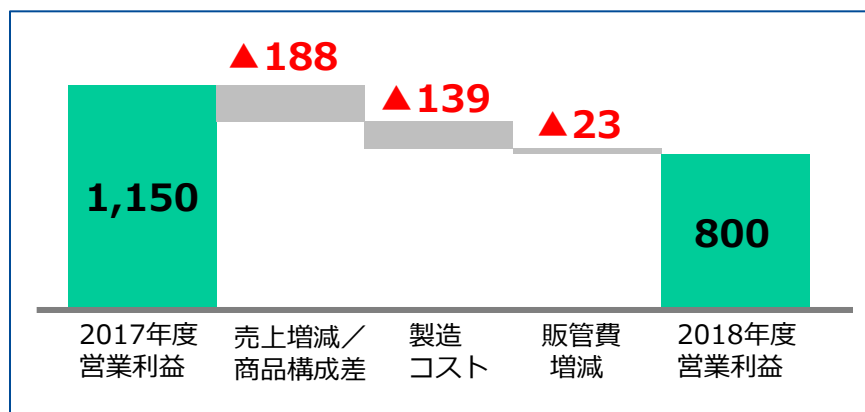
単位：百万元

	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)
売上高	4,308	3,782	▲526 (▲12%)
営業利益	1,150	800	▲350 (▲30%)
営業利益率	27%	21%	▲6pt

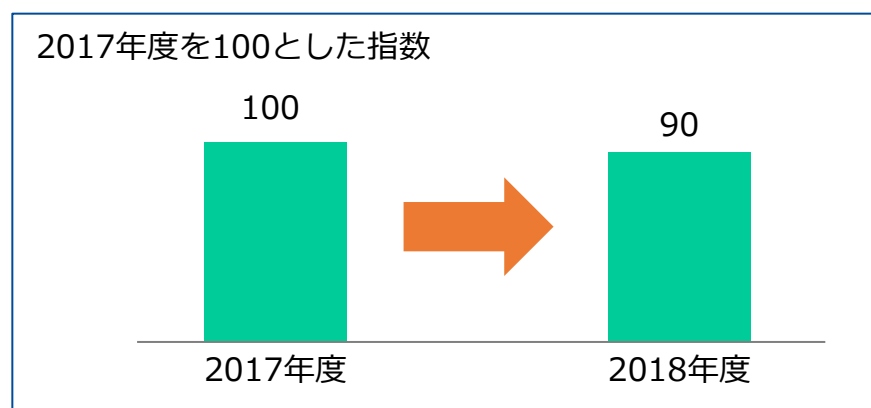
為替レート	2017年4Q	2018年4Q
1元	17.1円	16.3円

営業利益の増減要因

単位：百万元



ウォシュレットの販売台数伸長



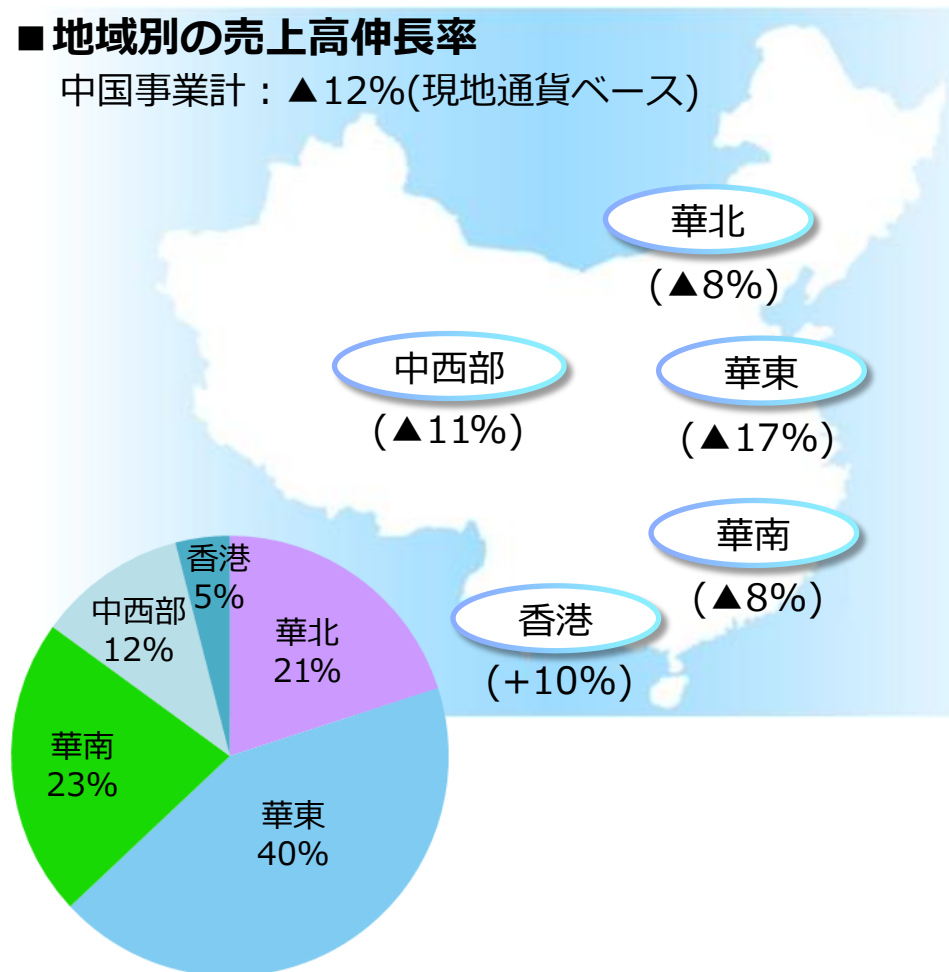
一線都市での不動産市況の悪化、新商品立上げ遅れに加え、生産性の悪化、輸入関連費用等の影響で減収減益。

2018年度決算

現地グループ会社の業績（中国）

■ 地域別の売上高伸長率

中国事業計：▲12%(現地通貨ベース)

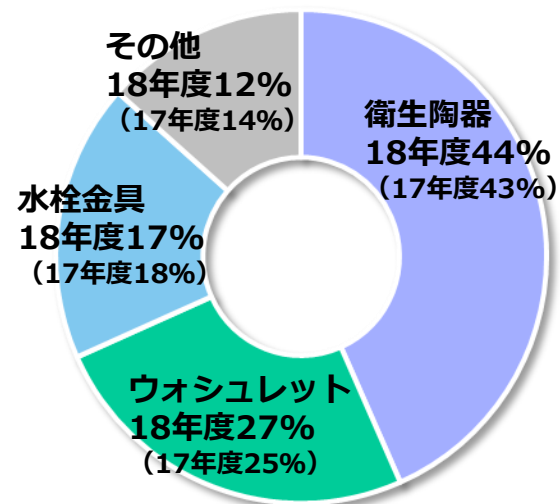


■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	▲11%
ウォシュレット	▲7%
水栓金具	▲20%

■ 売上高に占める商品構成



香港以外減収。主要商品で減収。

2018年度決算

現地グループ会社の業績（アジア・オセアニア）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

売上高
エリア別内訳

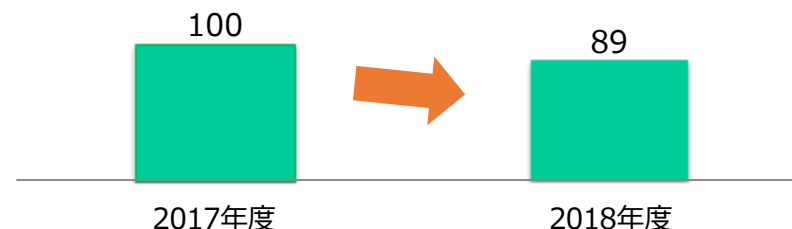
台湾 42%	ベトナム 33%	その他 25%
-----------	-------------	------------

単位：百万台湾ドル

台湾	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)
売上高	3,606	3,438	▲168 (▲5%)
営業利益	865	796	▲69 (▲8%)
営業利益率	24%	23%	▲1pt

■ウォシュレット販売台数の伸長

2017年度を100とした指数



為替レート	2017年度4Q	2018年度4Q
1台湾ドル	3.75円	3.66円

単位：10億ドン

ベトナム	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)
売上高 [外部顧客売上高]	3,369 [2,140]	3,671 [2,056]	(+9%) (▲4%)
営業利益	743	522	▲221 (▲30%)
営業利益率	22%	14%	▲8pt

為替レート	2017年度4Q	2018年度4Q
1ドン	0.00493円	0.00482円

台湾は、納入物件数前年割れの影響等により減収減益。

ベトナムは住宅市場の停滞、及び新工場稼動に伴う減価償却費増等により減収減益。

2018年度決算

現地グループ会社の業績（米州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

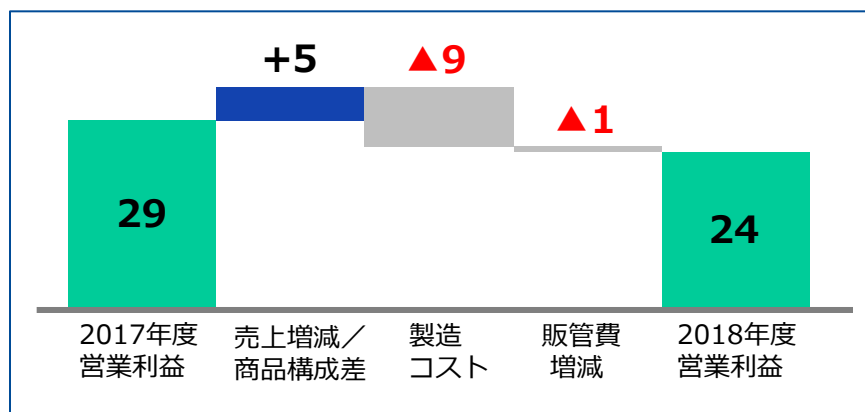
単位：百万ドル

	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)
売上高	274	283	+9 (+3%)
営業利益	29	24	▲5 (▲19%)
営業利益率	11%	9%	▲2pt

為替レート	2017年4Q	2018年4Q
1ドル	113.0円	112.9円

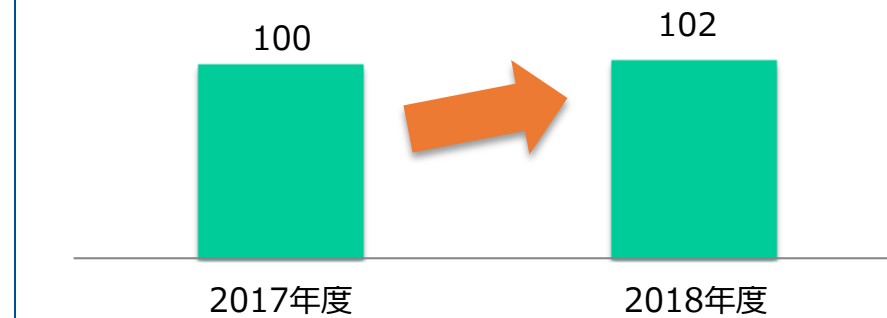
営業利益の増減要因

単位：百万ドル



ウォシュレットの販売台数伸長

2017年度を100とした指数



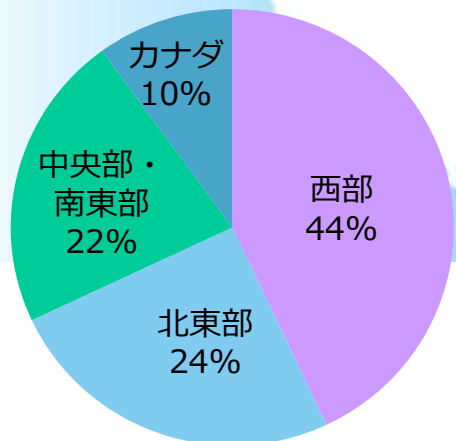
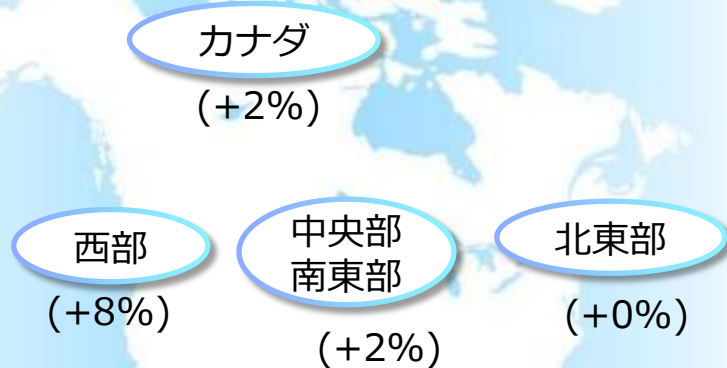
ウォシュレットの伸長により増収。
衛生陶器の生産性の悪化によるコスト増・販管費増等により減益。

2018年度決算

現地グループ会社の業績（米州）

■ 地域別の売上高伸長率

米州事業計：+3%(現地通貨ベース)

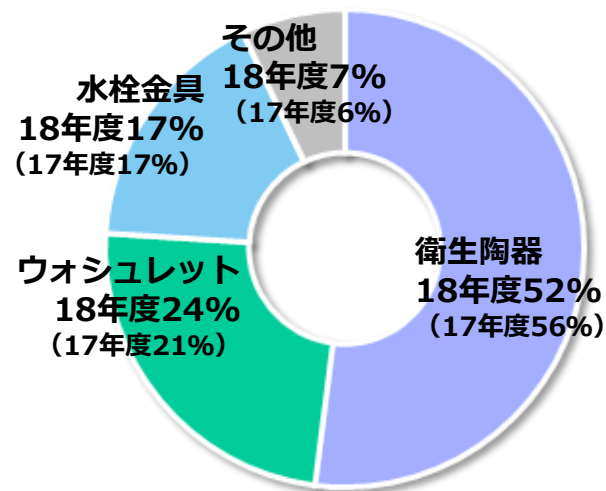


■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	▲3%
ウォシュレット	+16%
水栓金具	+6%

■ 売上高に占める商品構成



衛生陶器は商品切替のタイミングで一時的に減少。
ウォシュレットはネオレストの好調により二桁伸長。

2018年度決算

現地グループ会社の業績（欧州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ユーロ

	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)
売上高	26	26	▲0 (▲3%)
営業利益	▲6	▲7	▲1

為替レート	2017年度4Q	2018年度4Q
1ユーロ	133.0円	128.8円

■ 欧州向けWASHLET新商品好調

欧州で好まれる薄型シルエットのウォシュレットは発売以来好調を継続。2019年3月にドイツで開催のISHにおいても高評価。



WASHLET RX
(2018年7月発売)



WASHLET SX
(2018年11月発売)

減収減益。引き続き流通構築と著名物件採用を推進。

2018年度決算

新領域事業

セラミック事業

単位：億円

	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)	修正計画	
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)
売上高	200	221	+21 (+11%)	▲2	+23 (+12%)
営業利益	17	12	▲5 (▲27%)	▲0	▲5 (▲26%)
営業利益率	9%	6%	▲3pt		
				修正計画 (1月31日)	修正計画差 (修正計画比)
				226	▲5 (▲2%)
				12	+0 (+7%)
				5%	+1pt

環境建材事業

単位：億円

	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)	修正計画	
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)
売上高	84	80	▲4 (▲4%)		▲4 (▲4%)
営業利益	▲4	▲3	+1		+1
				修正計画 (1月31日)	修正計画差 (修正計画比)
				84	▲4 (▲5%)
				▲2	▲1

セラミック事業は増収も、生産性の悪化により減益。

目次

1. 2018年度決算

2. トピックス

3. 2019年度計画

トピックス

世界の展示会に出展 'Life Anew' 世界の暮らしをあたらしく豊かに

■ ISH2019



TOTOブース



クリーン技術の結晶
ネオレスト

会期 : 2019年3月11日-15日
場所 : ドイツ・フランクフルト
来場者数 : 約20万人 (ISH全体)

■ International CES 2019



デザインとテクノロジーの優れた商品として評価を受け、「ネオレストNX」と「FLOTATION TUB」が、家電部門においてCES Innovation Award Honoreesに選出。



NEOREST NX



FLOTATION TUB

会期 : 2019年1月8日-1月11日
会場 : アメリカ・ラスベガス、
Las Vegas Convention Center (LVCC)

グローバルにTOTOブランドを発信。

トピックス

社外からの評価

便座用マイクロ波センサーの実用化で 「電波功績賞」を受賞

エコリモコン以来
2回目の電波産業会会長賞 受賞

電波の有効かつ
適正な利用への
特別な功績が
評価された



「iFデザイン賞2019」を受賞

※ネオレストAH/RH他 全3点

「レッドドット・デザイン賞2019」を受賞

※台付シングル混合水栓 4点



reddot award 2019
winner

デザインと機能の
融合への妥協なき
取組が評価された

社会的責任投資指数 「FTSE4Good Index Series」 の構成銘柄に3年連続で選定



FTSE4Good

ESG（環境・社会・
ガバナンス）に配慮した
経営・情報開示が
評価された

「Dow Jones Sustainability World Indices (DJSI World)」 の構成銘柄に選定（7回目）

MEMBER OF
Dow Jones
Sustainability Indices
In Collaboration with RobecoSAM

ESGの側面から
企業の持続可能性
が評価された

ものづくり、CSRの取組みが、国内外から高く評価された。

ウォシュレットグローバル戦略

おもてなしトイレ空間「experience TOTO」 成田空港にオープン



TOTOと成田国際空港のコラボレーションにより、入国最初のトイレで温水洗浄便座「ウォシュレット」に代表される“日本のきれいなトイレ文化”を訪日外国人の方々に体験いただくことを目的にIoTを活用した“最先端のおもてなしトイレ空間”を開設。

成田国際空港第1ターミナルビル
南ウイング1階（到着ロビー）
2019年4月3日（水）オープン

experience TOTO

【主な特長】※NTT東日本・バカン・TOTO共同企画

■タブレットリモコン（試験導入）



温水洗浄便座「ウォシュレット」の操作リモコンとして、タブレットを試験導入。日本語・英語・簡体字中国語・繁体字中国語・韓国語の5言語に対応。

■トイレの混雑状況の表示



トイレブースのドアに設置したセンサーと行列状況を検知する解析技術により、トイレ使用状況を把握。クラウドを介して、空室/混雑状況および行列発生状況をトイレ入口両脇に設置した液晶パネルに5言語（英語・簡体字中国語・繁体字中国語・韓国語・日本語）で表示。

「日本のきれいなトイレ文化＝TOTO」をグローバルに発信。

目次

1. 2018年度決算

2. トピックス

3. 2019年度計画

ハイライト

増収増益を計画。売上は過去最高を目指す。

グローバル住設事業（日本）：増収減益

- ◆ リモデル・新築ともに増収減益。

グローバル住設事業（海外）：増収増益

- ◆ 全てのエリアで増収増益を計画。
- ◆ 引き続きウォシュレットの販売拡大を目指す。

新領域事業：減収増益

- ◆ セラミック事業は半導体市場の一時的な停滞により減収も、生産性の改善により増益。

2019年度計画

P/L概要

単位：億円

	2018年度	2019年度計画			前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 前年差(前年比)
		上期	下期	通期			
売上高	5,860	2,939	3,211	6,150	+290 (+5%)	▲28	+318 (+5%)
営業利益 [営業利益率]	401 [6.9%]	163 [5.5%]	267 [8.3%]	430 [7.0%]	+29 (+7%)	▲5	+34 (+8%)
経常利益	431	170	270	440	+9 (+2%)	▲11	+20 (+5%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	323	124	193	317	▲6 (▲2%)	▲10	+4 (+1%)
ROA	7.1%	7.3%					
ROE	9.6%	9.2%					

■為替レート

	2018年度				2019年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	計画
1ドル	108.2円	109.1円	111.4円	112.9円	110.0円
1元	17.0円	17.1円	16.4円	16.3円	16.0円
1ユーロ	133.1円	130.0円	129.6円	128.8円	130.0円

2019年度計画

セグメント別業績

単位：億円

<売上高>	2018年度	2019年度計画			前年差 (前年比)	為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)
		上期	下期	通期			
住設事業 (日本)	4,251	2,100	2,261	4,361	+110 (+3%)		+110 (+3%)
住設事業 (海外)	1,304	699	787	1,486	+182 (+14%)	▲27	+209 (+16%)
新領域	302	139	161	300	▲2 (▲1%)	▲0	▲3 (▲1%)
その他	2	1	2	3	+1		+1
合計	5,860	2,939	3,211	6,150	+290 (+5%)	▲28	+318 (+5%)

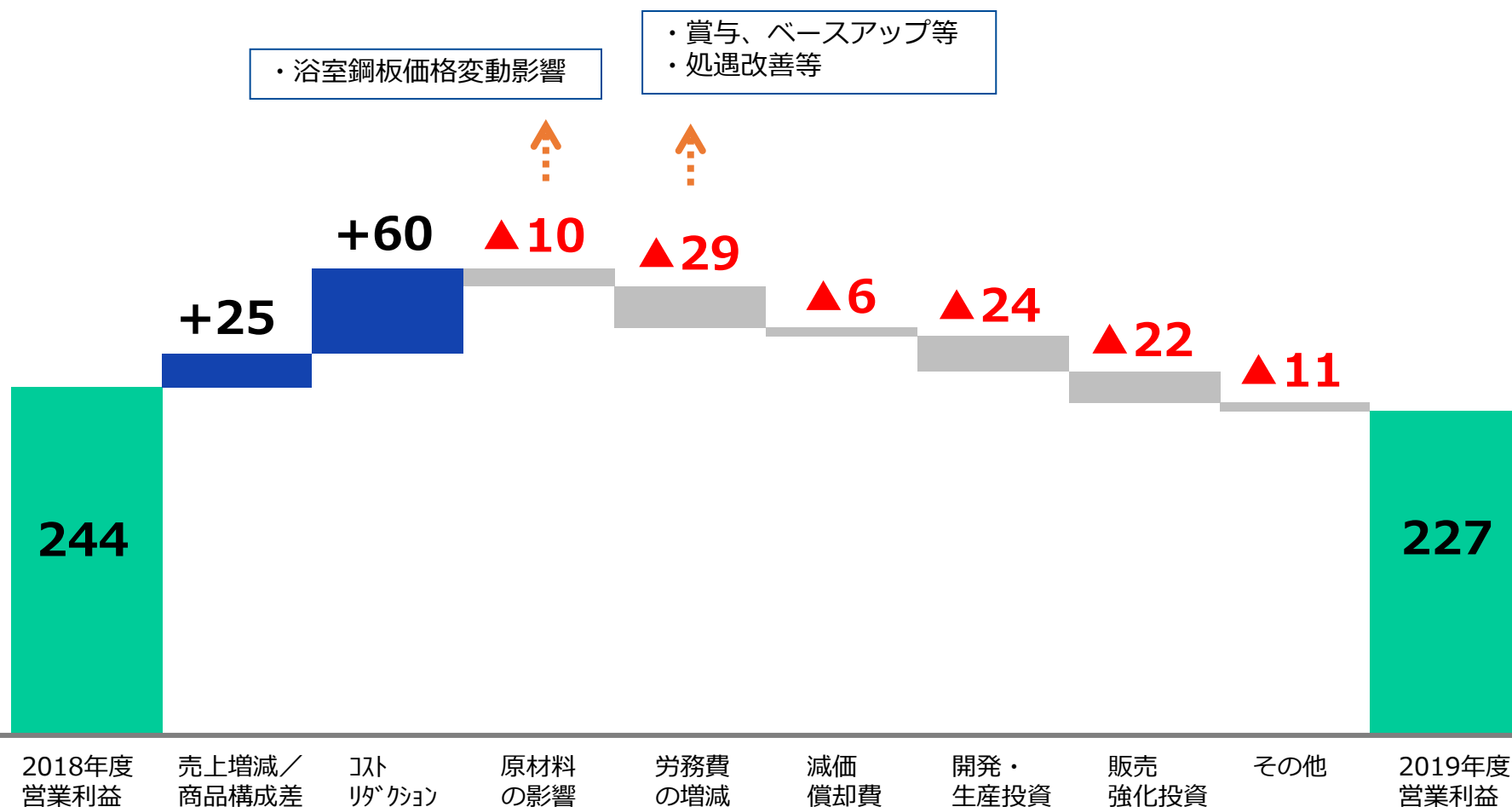
<営業利益>	2018年度	2019年度計画			前年差 (前年比)	為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)
		上期	下期	通期			
住設事業 (日本)	244	92	135	227	▲17 (▲7%)		▲17 (▲7%)
住設事業 (海外)	183	85	139	224	+41 (+22%)	▲5	+46 (+25%)
新領域	9	4	13	17	+8 (+75%)	▲0	+8 (+76%)
その他	▲35	▲18	▲20	▲38	▲3		▲3
合計	401	163	267	430	+29 (+7%)	▲5	+34 (+8%)

2019年度計画

グローバル住設事業（日本）

営業利益の増減要因（前年差異▲17億円の内訳）

単位：億円



2019年度計画

グローバル住設事業（日本）

需要別実績

単位：億円

<リモデル>

	2018年度	2019年度 計画	前年差 (前年比)
売上高	2,905	2,975	+70 (+2%)
営業利益	213	199	▲14 (▲7%)
営業利益率	7%	7%	▲0pt

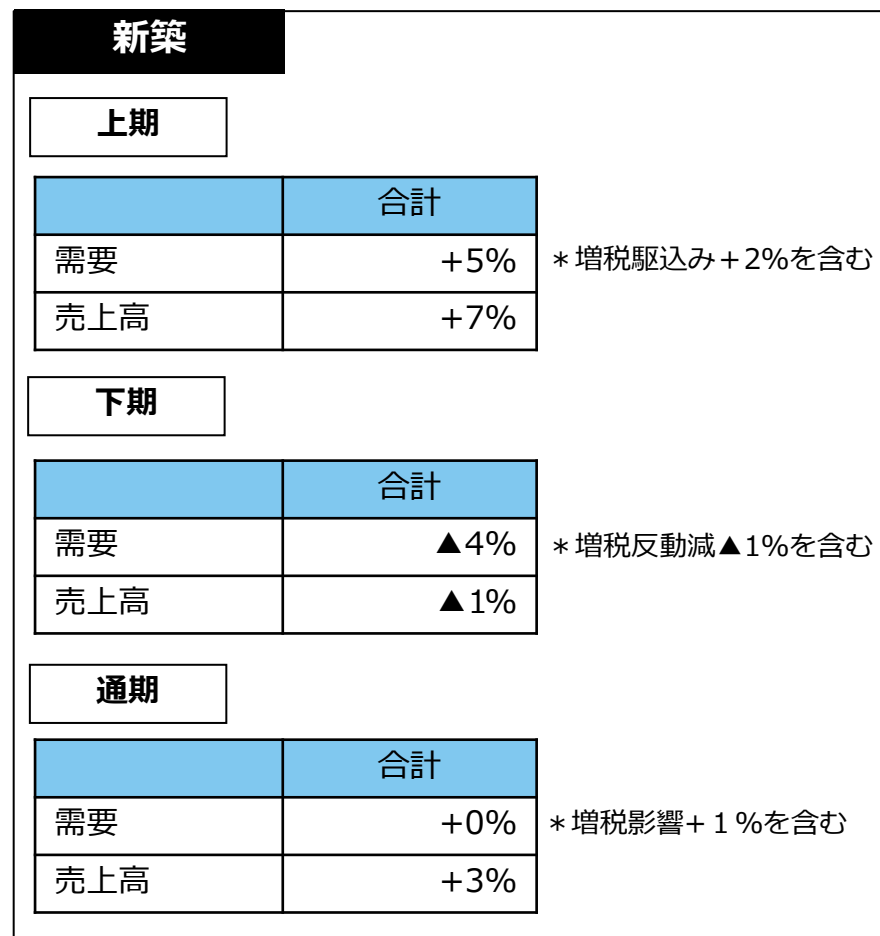
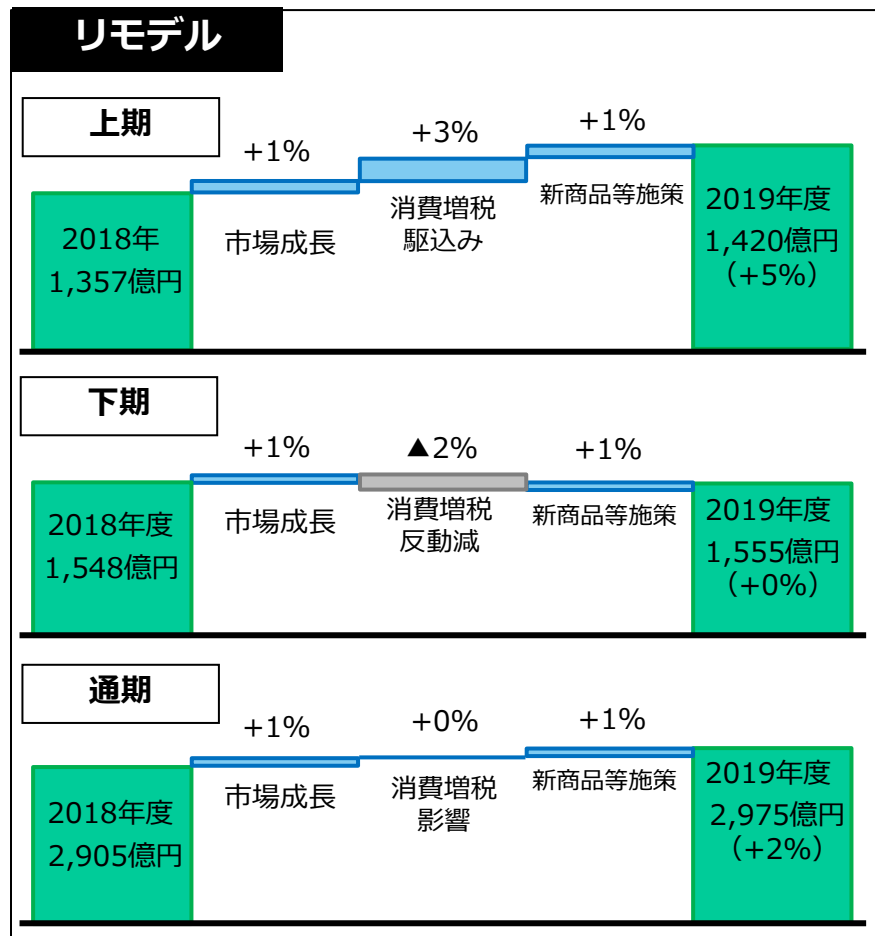
<新築>

	2018年度	2019年度 計画	前年差 (前年比)
売上高	1,346	1,386	+40 (+3%)
営業利益	31	28	▲3 (▲10%)
営業利益率	2%	2%	▲0pt

リモデル・新築ともに増収減益。

2019年度計画

グローバル住設事業（日本）：リモデル・新築の計画について



リモデル・新築ともに、増収計画。

なお、消費税影響は上期駆込み（リモデル+3%、新築+2%）、
下期反動減（リモデル▲2%、新築▲1%）を織り込んでいる。

2019年度計画

グローバル住設事業（日本）

商品別実績

単位：億円

	売上高			営業利益		
	2018年度	2019年度計画	前年差 (前年比)	2018年度	2019年度計画	前年差 (前年比)
衛生陶器	900	923	+23 (+3%)	73	69	▲4 (▲5%)
ウォシュレット	959	971	+12 (+1%)	131	119	▲12 (▲9%)
水栓機器	901	932	+31 (+3%)	44	49	+5 (+11%)
浴室	974	1,012	+38 (+4%)	14	6	▲8 (▲57%)
キッチン・洗面	434	441	+7 (+2%)	▲9	▲5	+4
その他	81	82	+1 (+1%)	▲8	▲9	▲1
合計	4,251	4,361	+110 (+3%)	244	227	▲17 (▲7%)

全商品で増収。衛生陶器・ウォシュレット・浴室は減益計画。

2019年度計画

グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2018年度	2019年度計画	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	635	710	+75 (+12%)	+103 (+16%)
アジア	318	364	+46 (+15%)	+44 (+14%)
米州	313	359	+46 (+15%)	+47 (+15%)
欧州	37	51	+14 (+36%)	+13 (+37%)
合計	1,304	1,486	+182 (+14%)	+209 (+16%)
営業利益	2018年度	2019年度計画	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	123	145	+22 (+17%)	+27 (+22%)
アジア	54	62	+8 (+14%)	+7 (+13%)
米州	16	23	+7 (+45%)	+7 (+46%)
欧州	▲11	▲6	+5	+4
合計	183	224	+41 (+22%)	+46 (+25%)

全エリアで増収増益計画。

2019年度計画

現地グループ会社の業績（中国）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万元

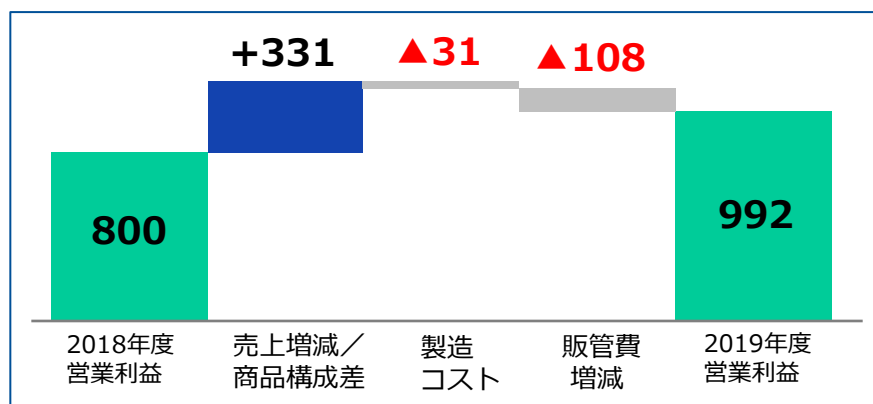
	2018年度	2019年度	前年差 (前年比)
売上高	3,782	4,434	+652 (+17%)
営業利益	800	992	+192 (+24%)
営業利益率	21%	22%	+1pt

為替レート	2019年度計画
1元	16.0円

第1四半期(1月～3月)の売上高伸長率は前年同期比▲9%

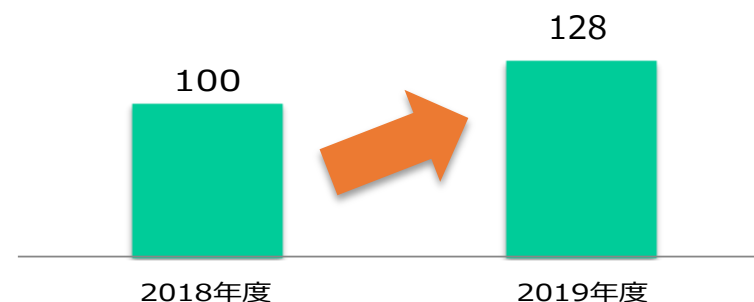
営業利益の増減要因

単位：百万元



ウォシュレットの販売台数伸長

2018年度を100とした指数



新商品投入等により供給が安定し、増収増益を計画。

2019年度計画

現地グループ会社の業績（アジア・オセアニア）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

売上高
エリア別内訳

台湾 37%	ベトナム 32%	その他 31%
-----------	-------------	------------

単位：百万台湾ドル

台湾	2018年度	2019年度	前年差 (前年比)
売上高	3,438	3,672	+234 (+7%)
営業利益	796	802	+6 (+1%)
営業利益率	23%	22%	▲1pt

第1四半期(1月～3月)の売上高伸長率は前年同期比+14%

単位：10億ドン

ベトナム	2018年度	2019年度	前年差 (前年比)
売上高 [外部顧客売上高]	3,671 [2,056]	4,249 [2,386]	(+16%) [+16%]
営業利益	522	581	+59 (+11%)
営業利益率	14%	14%	▲0pt

第1四半期(1月～3月)の外部顧客売上高伸長率は前年同期比+1%

■ウォシュレット販売台数の伸長

2018年度を100とした指数



為替レート	2019年度計画
1台湾ドル	3.70円

為替レート	2019年度計画
1ドン	0.00485円

台湾：建築着工の回復による納入物件数増加等で増収増益を計画。

ベトナム：ショールーム活用による新商品積極プロモーション等で増収増益を計画。

2019年度計画

現地グループ会社の業績（米州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ドル

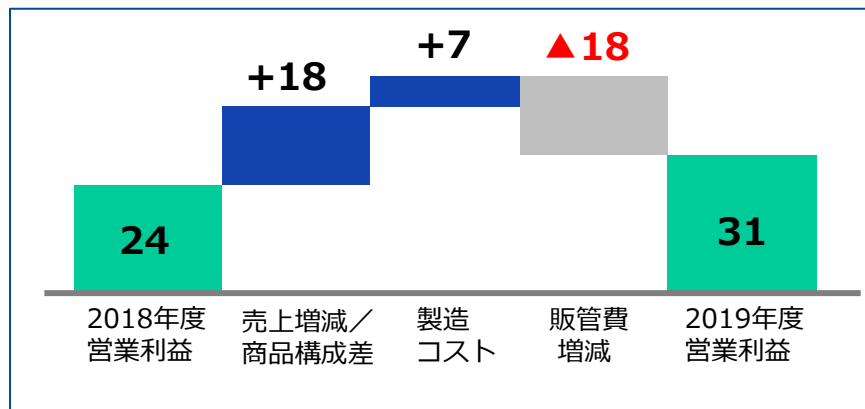
	2018年度	2019年度	前年差 (前年比)
売上高	283	326	+43 (+15%)
営業利益	24	31	+7 (+28%)
営業利益率	9%	9%	+0pt

為替レート	2019年度計画
1ドル	110.0円

第1四半期(1月～3月)の売上高伸長率は前年同期比+4%

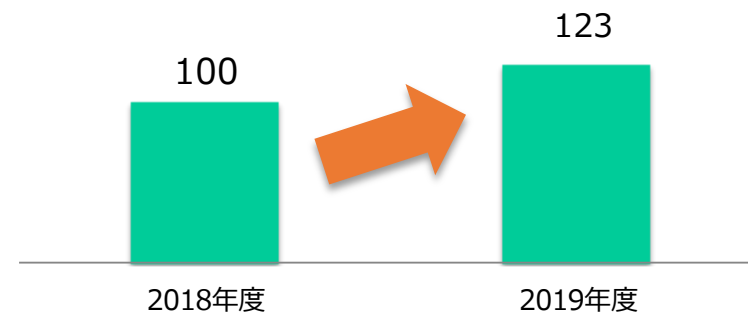
営業利益の増減要因

単位：百万ドル



ウォシュレットの販売台数伸長

2018年度を100とした指数



ウォシュレットの大幅伸長、および生産性の回復により
増収増益を計画。

2019年度計画

現地グループ会社の業績（欧州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ユーロ

	2018年度	2019年度 計画	前年差 (前年比)
売上高	26	36	+10 (+41%)
営業利益	▲7	▲5	+2

第1四半期(1月～3月)の売上高伸長率は前年同期比+10%

為替レート	2019年度計画
1ユーロ	130.0円

■ ドイツでの販売を強化

■ 新商品順次投入

2018年度新商品

2019年度新商品



WASHLET RX



WASHLET SX

- ・“EWATER+” 搭載のウォシュレット
- ・ハイデザイン水栓 等

■ ドイツにおけるプランマー（水まわり施工店）ネットワーク拡充

ウォシュレットセミナー

新商品プロモーション

需要創造施策



地域密着有カプランマーの
親派化

増収、赤字幅縮小の計画。

2019年度計画

新領域事業

セラミック事業

単位：億円

	2018年度	2019年度 計画	前年差 (前年比)	為替影響額	
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)
売上高	221	213	▲8 (▲4%)	▲0	▲8 (▲3%)
営業利益	12	16	+4 (+30%)	▲0	+4 (+30%)
営業利益率	6%	8%	+2pt		

環境建材事業

単位：億円

	2018年度	2019年度 計画	前年差 (前年比)	為替影響額	
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)
売上高	80	86	+6 (+8%)		+6 (+8%)
営業利益	▲3	0	+3		+3

セラミック事業は、半導体市場の一時的な停滞により減収増益を計画。

日本住設事業における価格改定実施

■ 価格改定の理由

原材料価格や物流費・燃料価格・人件費等の上昇が続いており、生産性の向上や合理化によるコストリダクションを図ってきたが、企業努力だけでは吸収することが困難と判断したため。

■ 実施時期：2019年10月1日受注分より

■ 主な対象商品と改定率

対象商品	改定率
衛生陶器	6～7%程度
ウォシュレット（一体形便器・シートタイプ）	4～6%程度
水栓金具	5～6%程度
ユニットバス・システムバスルーム	5～7%程度
洗面化粧台	4～6%程度
その他（マーブライトカウンター・タイル建材等）	5～6%程度

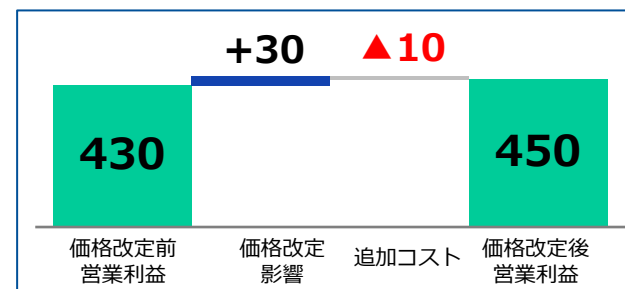
2019年度計画（価格改定後）

P/L概要

単位：億円

	2018年度	2019年度計画			前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 前年差(前年比)
		上期	下期	通期			
売上高	5,860	2,939	3,241	6,180	+320 (+5%)	▲28	+348 (+6%)
営業利益 [営業利益率]	401 [6.9%]	163 [5.5%]	287 [8.9%]	450 [7.3%]	+49 (+12%)	▲5	+54 (+13%)
経常利益	431	170	290	460	+29 (+7%)	▲11	+40 (+9%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	323	124	206	330	+7 (+2%)	▲10	+17 (+5%)
ROA	7.1%				7.7%		
ROE	9.6%				9.6%		

■ 価格改定影響



今回の価格改定により、営業利益+20億円を見込む。

2019年度計画（価格改定後）

セグメント別業績

単位：億円

<売上高>	2018年度	2019年度計画			前年差 (前年比)	為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)
		上期	下期	通期			
住設事業 (日本)	4,251	2,100	2,291	4,391	+140 (+3%)		+140 (+3%)
住設事業 (海外)	1,304	699	787	1,486	+182 (+14%)	▲27	+209 (+16%)
新領域	302	139	161	300	▲2 (▲1%)	▲0	▲3 (▲1%)
その他	2	1	2	3	+1		+1
合計	5,860	2,939	3,241	6,180	+320 (+5%)	▲28	+348 (+6%)

<営業利益>	2018年度	2019年度計画			前年差 (前年比)	為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)
		上期	下期	通期			
住設事業 (日本)	244	92	155	247	+3 (+1%)		+3 (+1%)
住設事業 (海外)	183	85	139	224	+41 (+22%)	▲5	+46 (+25%)
新領域	9	4	13	17	+8 (+75%)	▲0	+8 (+76%)
その他	▲35	▲18	▲20	▲38	▲3		▲3
合計	401	163	287	450	+49 (+12%)	▲5	+54 (+13%)

2019年度計画

設備投資・減価償却費・研究開発費の推移

	2017年度	2018年度	2019年度計画
設備投資額	381億円	573億円	436億円
減価償却費	213億円	233億円	259億円
研究開発費	205億円	211億円	227億円

■ 2019年度 設備投資内訳

住設事業（日本）	・新商品開発（グローバル商品開発含む） ・生産設備関連 等	約300億円
住設事業（海外）	・新工場関連 ・生産設備関連 等	約100億円
新領域	・セラミック増設 等	約40億円

2019年度計画

配当計画

	2017年度	2018年度	2019年度
中間	36.0円	45.0円	45.0円
期末	36.0円	45.0円	45.0円
年間計	72.0円	90.0円	90.0円
配当性向	33.1%	47.1%	46.2%

2019年度の配当は90円の計画。

ESGの取り組み

グローバル環境ビジョン

<ミッション>

みんなの
まいにちを
きれいに快適に。

まいにちを
環境にやさしい
暮らしへ。

いつでもいつまでも
人とのつながりを
大切に。

<グローバル環境ビジョン>

きれいと快適



きれい・快適を
世界で実現する。

すべての人の使いやすさ
を追求する。

環境



限りある水資源を守り、
未来へつなぐ。

地球との共生へ、
温暖化対策に取り組む。

地域社会とともに、
持続的発展を目指す。

人とのつながり



お客様と長く深い
信頼を築く。

次世代のために、
文化支援や
社会貢献を行う。

働く喜びを、とものつくり、
わかち合う。



経営とCSRのさらなる一体化を図り、より一層の企業価値向上を目指す。

ESGの取り組み

3つのマテリアリティに基づく活動

マテリアリティ	きれいと快適
主な活動	きれいで快適なトイレのグローバル展開



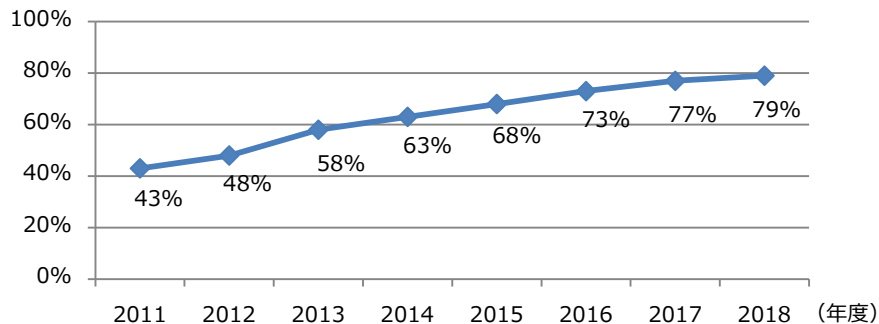
■ウォシュレット



マテリアリティ	環境
主な活動	節水商品の普及



■洗浄水量4.8L以下の節水便器の出荷率推移 (グローバル)



マテリアリティ	環境
主な活動	地域に根付いた社会貢献活動



■TOTO水環境基金

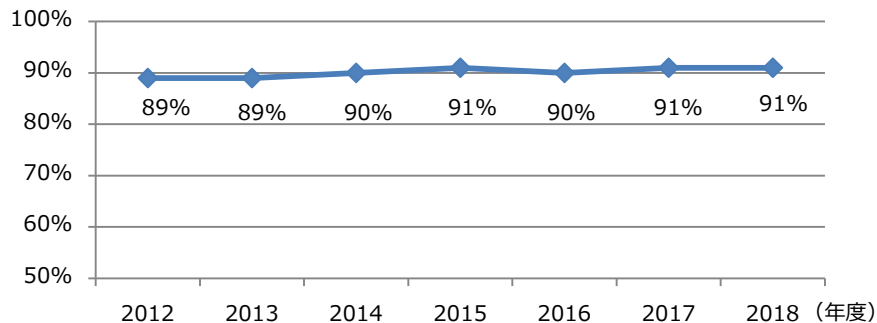
未来に向けて大切な水資源を有効に活用し、社会が持続的に発展していくことを目的に水環境保全にかかわる活動を支援。2005年の設立以来、14回で延べ259団体に3億円以上を助成。国内40都道府県、15の国と地域に活動が広がっている。



マテリアリティ	人とのつながり
主な活動	お客様満足度の向上

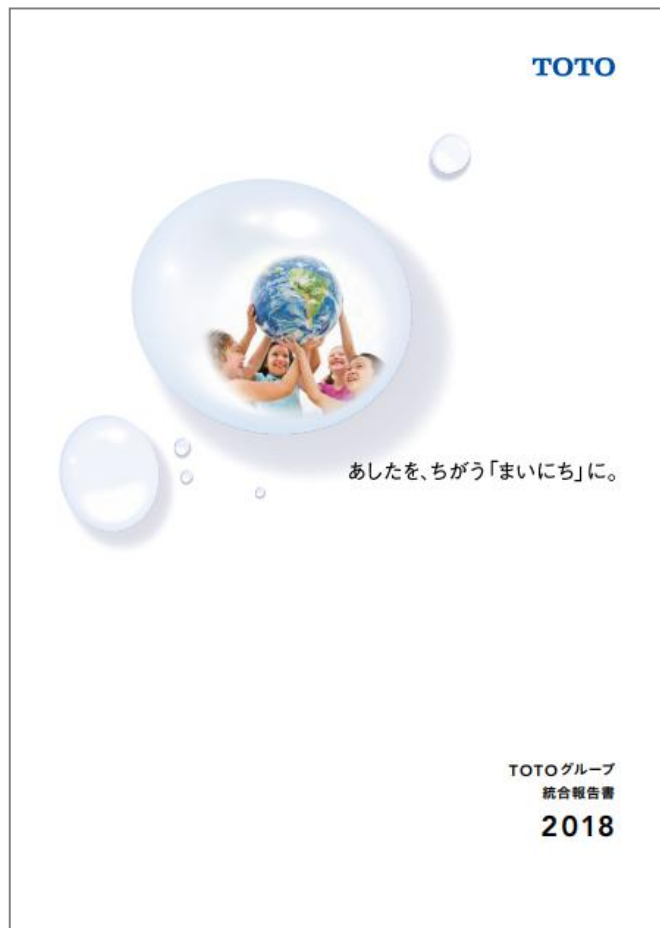


■アフターサービスお客様満足度 (日本)



統合報告書

従来のコーポレートレポートから財務・非財務情報の融合等を図り、新たなツールとして統合報告書を作成。2018年度より発行。



■掲載内容のポイント

- ・ 創立以来継承される企業姿勢
- ・ TOTOグループの成り立ち
- ・ 中長期の企業経営戦略
- ・ 事業活動のトピックス
- ・ 未来に向けての更なる企業価値向上への取り組み



TOTO統合報告書 閲覧URL
<https://jp.toto.com/company/profile/library>

2019年度版
2019年7月 発行予定

買収防衛策の非継続（廃止）について

2006年に導入した「当社株式の大量買付行為に関する対応方針（買収防衛策）」は、2019年6月の有効期限をもって廃止。

■非継続（廃止）の理由

- 国内外の機関投資家をはじめとする株主の皆様のご意見
 - 買収防衛策を巡る近時の動向
 - 当社を取り巻く経営環境の変化
- を注視しつつ、買収防衛策継続が及ぼしうる影響等を慎重に検討した。

今後も企業価値の向上に取り組んでいく。

このプレゼンテーション資料は、2019年4月26日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO